

尼崎市指定文化財の精華

1 開催趣旨

昭和58(1983)年3月、前年に制定された尼崎市文化財保護条例に基づき、尼崎市内に所在する如来院石造笠塔婆等5件の文化財が初めて尼崎市指定文化財に指定されました。以来、毎年のように市指定文化財は指定され続けており、現在では55件にまで増加しています。これら市指定文化財は、尼崎市が所蔵している他、市内の神社・寺院や個人が所蔵しており、歴史博物館では市ホームページにおいてその全容を紹介し、周知を図っています。

本年は、尼崎市指定文化財第1号が指定されてからちょうど40年になります。そこで、これを記念して尼崎市立歴史博物館第3回特別展では、これまで一堂に会することがなかった尼崎市指定文化財について、前期では寺社や民間に所在し普段は目にすることができない市指定文化財、後期では歴史博物館が所蔵しているに市指定文化財を展示することにより、尼崎市は豊富な文化財が現存し、長い歴史を有するまちであることを広く紹介します。

2 開催期間

前期：令和5年10月1日(日)から令和5年11月30日(木)まで

後期：令和6年1月6日(土)から令和6年3月24日(日)まで

いずれも開館時間は午前9時から午後5時まで(入館は午後4時30分まで)

3 休館日

月曜日(ただし祝日の場合は開館し、直後の平日が休館)

4 主催

尼崎市教育委員会

5 会場

尼崎市立歴史博物館 3階 企画展示室

6 観覧料金

無料

7 関連事業

(1) 講演会

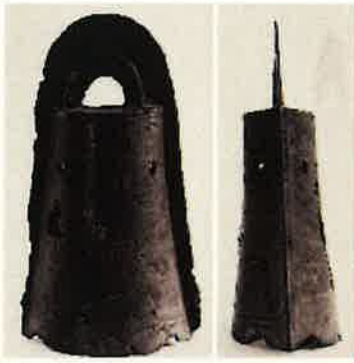
特別展会期中に、尼崎の文化財について造詣の深い専門家による記念講演会を開催する。

(2) 見学会

市指定文化財に指定されている建造物・石造物を学芸員の案内による見学会を開催する。

8 主な展示資料

・本興寺より



流水紋銅鐸



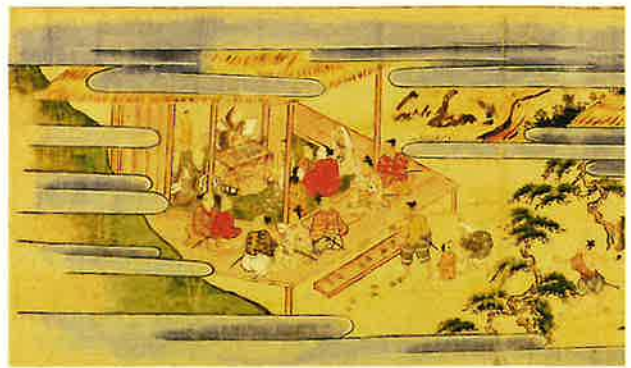
海北友松筆押絵貼屏風

・長遠寺より



鰐口

【附録】河内野田藩遺蹟
重宝 文化二十一年八月
日十八日 藤王 白紙



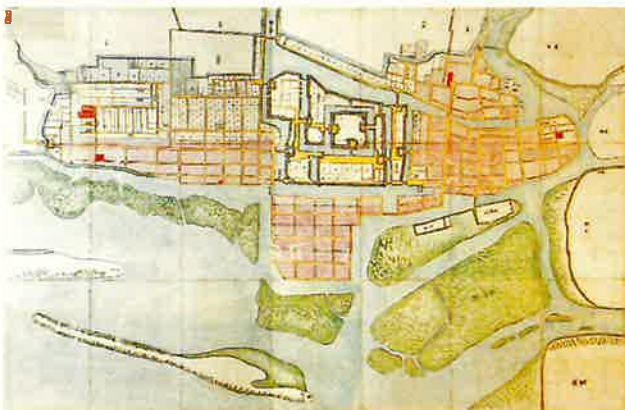
紙本着色日蓮大聖人註画讃

・宝寿院より



豊臣秀吉木像菊桐紋蒔絵厨子

・貴禰布神社より



延宝頃尼崎城下図

・白衣観音寺より



毘沙門天立像